



米大学での  
先端研究を実体験する  
**2021**年

理系学部生

# 夏季短期留学

詳細は中谷財団ウェブサイトをご参照ください。

<http://nkries.jp/2021>.....



アメリカ留学予定期間

2021年8月8日(日)~9月23日(木)

予定

本プログラムは過去5年間に約50名強を欧米大学の研究室に送ってきました。  
2021年夏季に米ジョージア工科大学/エモリー大学へ短期留学する  
学部生(1年生~3年生)を募集しています。  
学部生のうちに研究体験ができると同時に、  
米国の教授・学生や志を同じくする国内の大学生とのネットワークを築くこともできます。  
**グローバルに活躍する研究者を目指す学部生**が今後のキャリアを考え、  
拓げることができるプログラムです。

1

必要費用の  
大部分は  
中谷財団より  
支給

2

米国名門  
大学研究室  
の一員として  
研究活動

3

アカデミック  
カレンダーを  
配慮した  
留学日程



## 理系学部生短期留学

海外の大学への短期留学を通じ、最先端の研究と生活文化を体験するプログラムの夏季インターンシップ“Nakatani RIES 2021”参加者を募集します。米国ジョージア工科大学またはエモリー大学の夏季研修生として、研究室に所属してリサーチを体験します。修了者は春季インターンシップであるアドバンスプログラムに応募可能です。

**募集期間**  
(予定) **2021年**  
**1月7日～2月24日**

**対象者** **10名程度** 日本の大学の理系学部所属する1年生～3年生(応募時点)  
特に1年生、2年生(留学時点で2年生、3年生)の積極的な参加を期待します。

**留学期間**  
(予定) **2021年**  
**8月8日(出国)～9月23日(帰国)**

**条件**  
① 日本国籍または永住権を有すること。  
② 英語環境下でリサーチインターンシップを行うに必要な英語力。  
応募者にはインターネットを介してVERSANTを受験していただきます。  
費用は財団で負担します。詳細は応募受付後に連絡します。

2021年5月22日、23日に事前オリエンテーション、9月末または10月初めの週末に成果発表会を行います。留学期間も含め、すべて出席必須です。

### プログラム内容

- 渡航前オリエンテーション(国内)
  - ジョージア工科大学におけるオリエンテーション
  - ジョージア工科大学/エモリー大学の研究室におけるリサーチインターンシップ
  - 帰国発表会(国内)
- ▷以上を含め、当財団が指定する全日程参加が応募の条件です。

### 助成内容

- 研修費用(日本、米国) ● 渡航費ならびに国内外の移動費
  - 滞在費 ● 食費(一部) ● 留学旅行保険代 ほか
- ▷パスポート取得費用、通信費、観光費等の個人的費用は本人負担

### 申込方法

下記URLより、詳細を確認、My Pageを取得し申請ください。

<http://nkries.jp/2021>



**提出書類**  
成績証明書(英文)・履歴書(英文)・英文Essay(最大2500文字)3編

### 審査方法

審査委員会において書類選考後、面接を実施。理事会にて最終決定します。

▷面接予定日: 2021年3月20日または21日に東京にて実施。  
[面接会場までの交通費は支給します。]

### 結果発表

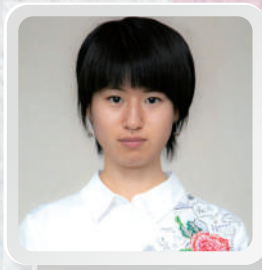
## 2021年5月上旬

助成対象として採用された場合、本人に直接通知し、詳細は別途お知らせします。

**Attention!** **アドバンスプログラムについて**  
[春季インターンシッププログラム]

夏季プログラムでの経験に基づき、自らの力で、より本格的な研究活動を米国の大学\*で体験する春季の短期留学です。

\*財団の指定する研究室が対象。  
2021年春は、Harvard大学(物理)・Georgia Tech・UC Davis(バイオ)等を予定。



Voice from students **参加学生の声**

博士課程に進む計画が具体的になりました。

萩原 春妃さん  
東京工業大学 工学院機械系 [3年(2019年当時)]

独カールスルーエ工科大で核磁気共鳴で使用されるデバイス改良を研究しました。初めての研究活動でしたがメンターもラボの学生も親しみやすく、すぐに相談でき助かりました。JP Fellowsと話す機会に恵まれ、普段の活動を聞く度に「私も負けれない。」と強く思いました。渡航前は博士課程で海外大学へ進学することをぼんやりと考えていましたが、この留学で博士課程に進む過程を知り、計画を立てることができました。プログラムを最後までやりぬいたという自らの自信と、多様な個性のJP Fellowsから刺激を受けたことによるものだ実感しています。

\*2019年はドイツで実施、2020年はコロナ禍のため中止。  
2021年は米国実施となります。

お問い合わせはHPからお願いします。 <https://www.nakatani-foundation.jp/>